

2023 年度 施設関係者評価表

学校法人ワタナベ学園
幼保連携型認定こども園 戸頭さくらの森

《実施日》

2023 年 8 月 23 日（水）保育参観日

《評価実施者》

- ・越谷保育専門学校 専任教員 相川氏
- ・清瀬小第 3 学童クラブ 主任 大坂氏
- ・さくら台第二保育園 保育士 松ヶ崎氏
- ・安行学園 安行幼稚園 教諭 新妻氏

《評価目安》

5 よくできている 4 おおむねできている 3 普通 2 少し不満 1 かなり不満

《評価》

評価内容	5	4	3	2	1
園の行事の管理・実施体制が整っている			3	1	
日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みにつとめている			4		
事故などの緊急事態発生時にも迅速に対応できる準備がされている				4	
特別な配慮が必要な園児のための支援体制の整備につとめている			3		1
公開保育が適切に実施されている			4		

地域の自然や文化財、伝統行事などの資源の活用に努めている			4		
保護者の実情等による職員対応など子育て支援体制がなされている			1	1	2
保護者の実情や要望による預かり保育が適切に実施されている	1		2	1	
施設・設備（空き保育室など含む）が適切に活用されている		1	2	1	
施設・設備の安全・維持管理が行き届いている		1		3	

《全体評価》

・保護者と一緒に嬉しそうに登園する園児を温かく迎え、子どもたちの普段の姿をみることができました。製作時に机を出さずに椅子や床で活動を行っていることがきになりました。活動時の姿勢や環境設定(椅子の置き方や防災頭巾等安全面の配慮も含む)に工夫が必要だと感じました。親子でのふれあい活動は、保護者も子どももとても楽しそうに取り組んでいました。しかし、活動に対してスペースが狭く（特に年長）、グループを分けたり、ホールの使用を検討するなど、安全面への配慮が欠けているように思います。預かり保育の体制を整えているが、保護者への対応の仕方、話し方にはもう少し保育者の専門性が必要だと感じました。

・環境面で安全管理に心配な点がみられた。（トイレの掃除用品がすぐ手の届くところにあり、常設されている感じが見て取れた。ろうかのロッカーの木のささくれへの対応が全くされていない）5歳児クラスでの製作の際、床に座らせ、床で絵を描くという環境構成が、スペースの問題への対策だとしても、ふさわしくないと感じた。また、最後のふれあい遊びの際にも、スリッパでジャンプしていた保護者の方が転倒していて安全面への配慮に欠けていた。

・職員の方の製作準備や子どもたちへの聞こえやすい声で次の活動を伝えていた所、また4歳児の配慮が必要そうな園児に対し、そばに寄り添い見守っていた所がよかった。全体的に落ち着いている様子はあったが、子ども本来の生き生きした姿が見られなかったのが残念だった。日ごろ行っている当番活動があると思う。主活動には机があった方がいい。静と動の動きにより、部屋を変えるなど工夫するとよい。言葉使い、保護者対応など職員間で話し合うとよい。

・製作中担任や補助の先生が見回り、子どもの様子、製作の進み具合を丁寧に見れていた。部屋全体に届く声であった。保護者に対しての言葉づかいは、相談されていることに対して、安心しているような寄り添う言葉が少なかった。また、友達ではなく保護者なので、言葉の選び方に改善が必要。部屋の使い方やトイレの中の洗剤の置き方、防災クッションの置き場など、環境設定に配慮が欠けている点があった。